

◆教育目標◆

未来を拓き、豊かに生きる人間を育む

◆学校教育重点目標◆

- ESD(持続可能な開発のための教育)の推進—
- ・子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育
- ・教育を核とした持続可能な地域社会の構築



八千代市の外国語教育

平成23年度から文部科学省より教育課程特例校の指定を受けています。平成25年度からは全小・義務教育学校の1・2年生で「言語活動科」を設け外国語活動を行い、義務教育9年間を通じてコミュニケーション能力を図る資質・能力を育てています。

①全校にALTを配置

英語でのコミュニケーションに慣れ親しむために学級担任や教科担任等とALTとのチームティーチングによる指導を行っています。

②義務教育9年間を

見据えたCAN-DOリストの作成

CAN-DOリストを共有することで、義務教育の9年間を通じて、学びの接続を意識した外国語教育を行い、発達段階に応じたコミュニケーション能力の育成を図っています。

③イマージョン教育の実施

図画工作科、生活科、家庭科、体育科などの授業を英語で実施しています。授業や生活の中で英語のシャワーをあびる環境づくりに努め、体験的に言語の理解を深めています。

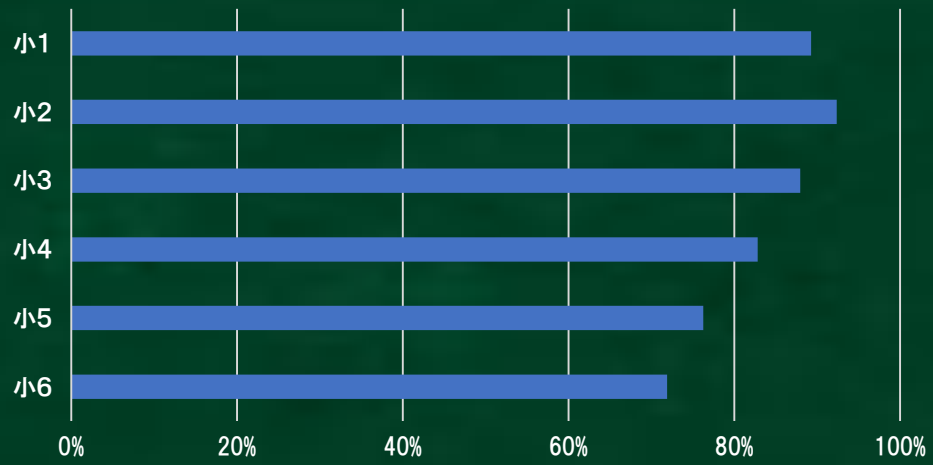
1年生34時間
2年生35時間
言語活動科

3・4年生
35時間
外国語活動

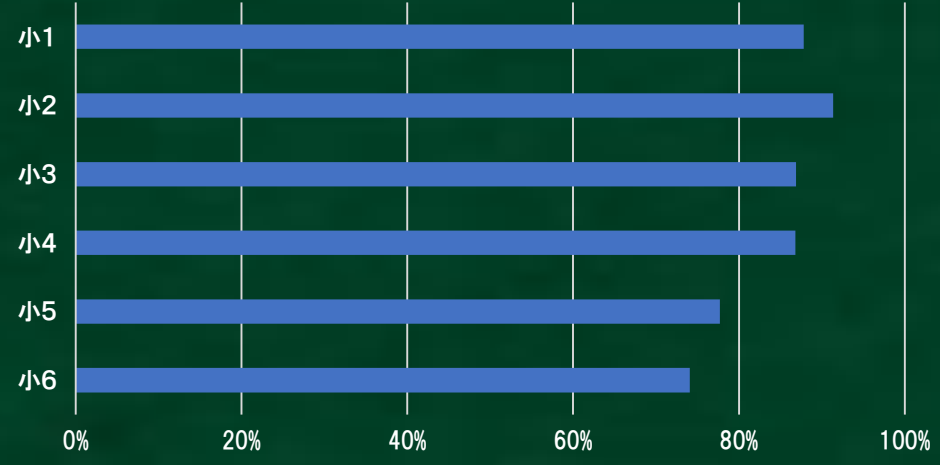
5・6年生
70時間
外国語科

中学生
140時間
外国語科

英語の授業は好きか



英語で会話することは楽しいか



令和5年度アンケート結果から

「英語の授業は好きか」という質問に対し、小学4年生までは約8割以上の児童が「好き」と回答している。「英語で会話をすることは楽しいか」という質問についても、小学4年生までは約9割の児童が「楽しい」と回答している。「英語を使ってどんなことができるようになりたいか」という質問に対し、低学年では「外国に行って英語をたくさんしゃべりたい」「外国の人と話したい」という回答が多く、高学年では「仕事で英語を使いたい」「英語で外国の方を助けたい」「海外の人と仲良くなりたい」などの回答が見られた。小学校入学と同時に、英語に触れることで、英語でコミュニケーションを取る楽しさや、多文化に触れることで多様性を体験的に学ぶことを目指しています。